

令和6年3月発行

環境学習推進センター情報誌 第54号

Contents

eco サポート

発行元 公益財団法人山口県ひとつくり財団県民学習部

- P1 気候変動を学ぶステップアップセミナーレポート
- P2 環境学習講座レポート
- P3 山口県環境学習功労者知事表彰
やまぐちっ子「環境レポート」優秀作品
「やまぐちプラスチックごみ削減
フォトコンテスト2023」最優秀作品
- P4 令和6年度環境学習関連講座・イベント等
環境学習の講演会・学習会を開催してみませんか

気候変動を学ぶステップアップセミナー

～持続可能なやまぐちの未来をめざして～



主催 山口県環境政策課 山口県気候変動適応センター
 共催 東京大学先端科学技術研究センター ClimCORE
 山口県地球温暖化防止活動推進センター 山口県環境学習推進センター

令和6年2月10日(土) 山口県立山口図書館

山口県と東京大学先端科学技術研究センターが連携し、気候変動の最新知見の解説や環境保全の活動団体、高校生等の活動紹介、意見交換を通じて、県民等への気候変動に対する理解を深め、2050年脱炭素社会や持続可能な社会の実現に向けた新たな時代の人づくりを目的に開催されたセミナーに、環境学習推進センターも参画しました。
 ～参加者：会場 108名、オンライン 75名～

第1部 特別講演 顕在化する地球温暖化と最近の異常気象 東京大学先端科学技術研究センター 教授 中村 尚

中村教授は、世界的な異常気象と地球温暖化との関係や、気象・気候のメカニズムの解明を目指す研究に取り組まれており、気象庁異常気象分析検討会会長も務められています。教授は、世界の平均気温は顕著な上昇傾向を示しており、顕在化する地球温暖化の要因は疑いなく人為起源の温室効果である。日本でも昨夏は前例のない高温となったが、これに、ジェット気流の蛇行などの顕著な自然変動が重なることで、極端な異常気象や豪雨が起こりやすくなっており、こうした近年の温暖化の現状と自然変動の仕組みをきちんと把握した上で、防災・減災に対する効果的な対策と、再生可能エネルギーへの移行や蓄電池技術開発などの緩和策を講じることが求められる。気温上昇の予測は非常に困難であるが、効果的な対策を講じることが重要であり、多くの研究機関や、企業、行政等の参加によるプロジェクトを進めていることなどを丁寧に説明していただきました。



第2部 活動紹介・パネルディスカッション <コーディネーター 東京大学 飯田 誠>

■ 活動紹介

- ① 「地域と共に創る持続可能な社会」 東京大学先端科学技術研究センター 特任准教授 飯田 誠
- ② 「周防大島（瀬戸内海）での海洋や陸域の変化」 自然公園指導員 藤本 正明
- ③ 「地球温暖化対策における地域センターの役割」 山口県地球温暖化防止活動推進センター室長 田部 一則
- ④ 「アースバトン～九州・山口の未来～に参加して」 野田学園中学・高等学校 生徒5名

■ パネルディスカッション ～持続可能な未来のために私たちができること～

活動紹介では、東京大学の飯田特任准教授をはじめ、県内の3団体の皆様に登壇していただき、脱炭素社会の実現に向けた取組、豊かな自然環境を守る活動などの紹介や、野田学園の皆さんからは、ごみのリサイクルについて考え課題解決への提案を発表されるなど、多彩な内容となりました。

パネルディスカッションでは、飯田特任准教授をコーディネーターに3団体の皆様をパネラーとして、意見交換を行いました。その際、議論の内容を、絵や図形などを用いてリアルタイムに見える化しながら進める、グラフィックレコーディングの手法を用いて進められました。

飯田先生からは、「持続可能な未来のために私たちができること」について、「知る(知る工夫)」、「つながる(ネットワークづくり)」、「実感する(有用性の理解等)」、「持続性(必要な要素)」の観点からパネラーの皆様に投げかけられ、将来、重大な影響に直面すると考えられる子ども達が様々な課題に、気づき、知っていただくための機会づくりなど、それぞれの立場からの事例や意見が出されました。

セミナーの最後に、中村教授は、「継続して取組むことで、環境等の様々な変化に気づく。皆さんの取組は素晴らしく、その輪をひろげてほしい。」と総括されました。



親子体験学習講座を実施しました

ときわ動物園で学ぼう！動物たちの暮らし

令和5年10月1日(日) ときわ動物園

生息環境展示が特徴の「ときわ動物園」多々良成紀園長を講師に、参加者は動物の生息空間に訪問している感覚で動物たちの生活を学びました。

また、普段見ることができない調理室、診療所の見学やモルモットに聴診器を当てて心音を聴くなどの体験プログラムを行いました。

多々良園長は、人間の活動が動物の生息環境にもたらす影響などにも触れられ、子ども達は、生息地の環境問題など、様々な点に目を向けることが大切であることを学びました。



SDGsカードゲーム&SDGs実験

令和5年11月26日(日) 山口県セミナーパーク

(株)エックス都市研究所の八百屋さやか氏を講師に、2030年の世界を考えながら、カードゲームでSDGsを学ぶ体験学習を実施しました。

親子や家庭間で協力しながらゲームを進める中で、「私たちの暮らしと社会・世界はつながっており、目標達成には、できることから始めることが大切である」ことを学びました。

さらに、やまぐち総合教育支援センターの先生方を講師に、水質調査などの化学実験を体験し、子ども達は、化学変化に驚きと興味を持ちながら楽しくSDGsについて学びました。



未来につなぐSDG-s 講座を実施しました

地球環境と樹木の役割～セミナーパーク自然観察会～

令和5年10月21日(土) 山口県セミナーパーク

樹木医の中村裕三氏を講師に招き、樹木や木の葉の観察を通して、森林の役割や自然の大切さへの理解を深めるための講座を実施しました。

中村先生は、山口県天然記念物の「向島の寒桜」や防府天満宮の「とおり松」、防府市立佐波小学校の「ヤブニッケイ」など、これまで、治療・移植された事例を紹介されるとともに、気候変動がもたらす樹木への影響や木材の用途、環境改善機能、二酸化炭素の固定など、様々な樹木の役割を解説され、受講者は熱心にメモを取られ、環境への意識の高さが窺えました。

また、自然観察会では、山口県セミナーパーク「自然ふれあいゾーン」に植樹された数十種類の樹木の中から、「アカマツ」などの県木や「クスノキ」、「クロガネモチ」などの市町木を中心に、中村先生の解説を聞きました。木の葉の色や形、感触、においなどから樹木の特徴や見分け方を学ぶことができ、受講者の皆様は、さらに樹木への関心を高めることができたのではないかと思います。



希少野生動植物種保護支援員研修会を実施しました

第1回 令和5年9月24日(日) 萩博物館

絶滅危惧種の「ミズアオイ」をテーマに、研修会を実施しました。

樹木医の草野隆司先生は、万葉集に登場するミズアオイの歌を紹介しながら、萩では絶滅したと考えられたミズアオイについて、ハス田で発芽待機していた種子から再生した一連の作業などを解説され、受講者は興味深く耳を傾けていました。

県自然保護課の吉田愛氏からは、生物多様性の取組の紹介などがあり、保全活動への積極的な協力を呼びかけられました。



第2回 令和5年11月18日(土) 山口博物館

(株)リクチコンサルタントの後藤益滋先生から、環境中の生物の組織片などから抽出したDNAから生息状況などの情報を得る「環境DNA」の手法と、山口博物館の田中浩先生から、館内の動植物収蔵庫の標本の見学を交えた県内の希少野生動植物の状況等について講義を受けました。

受講者は新たな調査手法の有効性や普段見学できない37万点近くの資料収蔵に、高い関心を示され、活発な質疑が交わされるなど充実した研修会でした。



環境パートナー 福田 和子 さん

環境パートナーとして、地域や学校等において、ネイチャーゲームをはじめとした自然体験活動や環境学習指導の功績が認められ、知事表彰を受賞されました。

令和5年度 やまぐちっ子「環境レポート」優秀作品

子ども達が家庭や学校、地域の人たちと一緒に「環境」や「SDGs」について考え、調べ、行動した経験を絵日記やレポート(かべ新聞)で、楽しみながら表現することで、環境に配慮した行動がとれるようになることを目的に実施しました。

最優秀賞

優秀賞

絵日記の部

レポート(かべ新聞)の部

絵日記の部



- 「かみすきたいけん」
ひろなか さゆり
弘中 小百合 さん 山口大学附属山口小学校1年
- 「水をたいせつにしよう」
くにかね ひなた
國兼 陽向 さん 周南市立三丘小学校2年
- 「『長くつかう』ことは大切につかうこと」
あはま ゆうき
阿濱 由樹 さん 山口市立大殿小学校3年

レポート(かべ新聞)の部

- 「つくる責任 つかう責任 洋服のリサイクル」
くぼた まゆ
久保田 麻友 さん 山口市立白石小学校4年
- 「身近で出来る私のSDGs」
こうの みすず
河野 美鈴 さん 山口市立小郡小学校6年
- 「水とくらしレポート」
すぎのもり ひな
相杜 陽風 さん 周南市立周陽小学校6年

「かみは、森からのおくりもの」
くぼた みゆう
久保田 深友 さん
山口市立白石小学校2年

「こわれたカサが大変身!!」
ひうら そうゆう
日浦 壮優 さん
岩国市立平田小学校6年

「やまぐちプラスチックごみ削減フォトコンテスト2023」最優秀作品

県が、「みんなで取り組むプラごみ削減」をテーマに実施した、日常でプラごみ削減に取り組む様子、県の美しい海岸風景などの写真や塗り絵によるコンテストの最優秀作品を紹介します。



たくさんのご応募
ありがとうございました!

入賞作品の詳細は
こちら



「子供たちとの習慣」
@sena_8833さん

「生き物観察とビーチクリーン」
尾田 篤さん

「地球のみんなで頑張る!」
高橋 絢大さん



【お問い合わせ先】
山口県
廃棄物・リサイクル対策課
☎083-933-2992

「青春」
黒木 丸生さん

「海の底まで光ってる!」
岩本 貴一さん

令和6年度 環境学習関連講座・イベント等

詳細は、市町役場や図書館などへの募集案内チラシの配置やホームページなどでお知らせします。

やまぐちキッズスクール(全3回)

多彩な体験活動を通して、幼児・児童の自然や環境に対する興味・関心を育みます。

開催日:5月25日(土)、7月6日(土)、9月7日(土)

対象:4才~小学3年生とその保護者
20組(70人程度)

やまぐち「志」キャンプ(全2回)

体験プログラムや仲間との活動・交流を通して、チャレンジ精神やコミュニケーション能力、課題解決力を高めることをめざします。

開催日:前期(8月1泊2日)、後期(12月 日帰り)

対象:小学4年~中学2年(45名程度)

未来につなぐSDGs講座(全3回)

持続可能な社会の実現に向けて、様々な実践活動に取り組む人材を育成します。

開催日:6月1日(土)、7月27日(土)、8月25日(日)

対象:中学生以上(親子対象の講座もあり)

環境学習指導者養成セミナー(全2回)

地域や学校における環境学習指導者を養成します。

開催日:5月16日(木)水生生物による水質判定指導者
5月23日(木)マイクロプラスチック調査指導者

対象:教員、市町職員、環境活動団体員等

希少野生動植物種保護支援員研修会(全2回)

絶滅のおそれのある野生動植物の保護活動や自然環境の保全活動を担う保護支援員を育成します。

開催日:9月、11月(予定)

対象:支援員

やまぐちっ子「環境レポート」

「環境」について考え、調べ、行動した体験を絵日記等で表現することで、環境への理解や実践行動に繋げる意識を育みます。

対象:小学生(募集はチラシ、ホームページで周知)

部門:絵日記の部(小学1~3年生)

レポート(かべ新聞)の部(小学4~6年生)

環境学習の講演会・学習会を開催してみませんか!!

環境学習推進センターでは、学校や民間団体などが県内各地で開催する講演会や体験学習会などに、山口県環境学習指導者バンクに登録された、講師・指導者を派遣します。

講師派遣の流れ

講演会・学習会主催者

派遣申請

環境学習推進センター

派遣要請

講師・指導者

講演会、体験学習会の主催者は、開催日の30日前までに、派遣申請書に必要事項を記入の上、環境学習推進センターに申請してください。

主催者から提出された申請書を審査し、講師・指導者派遣の可否を申請者に通知します。

環境
アドバイザー

環境
パートナー

こどもエコクラブ
アドバイザー

講師・指導者の派遣費用は当センターが負担します

詳細は、環境学習推進センターにお問い合わせいただくか、ホームページ「環境学習のひろば」をご覧ください。

公益財団法人山口県ひとづくり財団
県民学習部
環境学習推進センター

〒754-0893

山口市秋穂二島1062(山口県セミナーパーク内)

TEL 083-987-1110 FAX 083-987-1720

E-Mail kangaku@hito21.jp

<https://yamaguchi-learning.com/>

環境学習のひろば

検索

